

## 税の大切さ

新潟県立長岡明德高等学校

三年 高野 綾花

税についての作文を書こうという課題が今年の夏休みに出された。

税についての作文と唐突に言われても私には税に対する知識が全くと言って良いほどなく、作文を書くということも苦手にしていたのでどういうことを書いていたら良いのかとても悩んでいた。

そんなときに、学校の授業で調べ学習の時間がとられた。私は、そこで初めてインターネットで税に関するホームページを開いた。そのページには学校の社会科の授業で習ったことや聞いたことがあったものから初めて聞くものまで様々な内容の情報が載っていた。その中で気になったことが二つあった。

まず一つ目は、今私たち学生一人一人にかかっている年間の教育費についてだ。私は今まで小学校に入学することや中学校に入学すること、またその中で様々な教科のことを学んでいくために必要な教育費が全て税金で賄われていることを知りとても驚いた。

だが、私たちが普通におくっている学校生活をおくるために税金は必ず必要なものだということを知ることができた。

二つ目は、公共サービスについてだ。私の祖母は一度、脱水症で救急車で病院に運ばれたことがある。当時救急車は私が思っていた以上にとても速くかけつけてくれた。私は救急車が迅速に対応してくれることをあたり前のことだと思いきんでいた。しかし、これもまた私たちが日頃払っている税金から賄われていることを改めてまた知ることができた。

最後に、私は取り組みの始めのうちは、税に対して興味は持ったことがなく知りたいたいという意欲すらなかった。また、どうして税金なんて払わなければならないのかとさえ思ったことが何度もあった。しかし、税のことをだんだんと知っていくうちにその考え方が根本的に違うという事実に気づかされた。そして、今まで学校や病院、公共施設など数えきれない程の日常生活に欠かせないこと全てが税金によって培ってきたものだと知ることができたのは今回税についての作文を取り組んだことがきっかけだと思うので取り組んで良かったと思っている。

また、これからは、税金は私にとつての負のものではなく未来の私のためのかげがえのない大切なものだということを第一に考えて日々の生活を送りたい。